

〇おおさか地域創造ファンド（大阪府）の概要

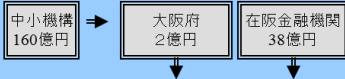
運営主体	公益財団法人 大阪産業振興機構
ファンド総額	200億円 (うち 独立行政法人中小企業基盤整備機構 融資額160億円)
中小機構の貸付期間	10年間（無利子）
助成対象	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府内において創業を行う者及び府内に主たる事務所等を有する中小企業者等 ・中小企業者以外の者で大阪府内において自ら事業を行う者 ・上記の事業者を支援するものとして知事が認める広域支援機関
特徴	<p>府内8ブロックに分割し、ブロック毎に市町村、商工会等の意見を取り入れた「地域活性化プラン」を策定。これにより、各地の特徴、ニーズを反映し、地域による主体的な取組みを促進。</p> <p>その他、府が重点施策と位置づける分野と大阪の魅力発信のための事業創出を支援</p>

おおさか地域創造ファンドの概要 ～地域のさまざまな資源を活用した新事業創出～

目的 活力とにぎわいあふれる地域づくりを目指して「おおさか地域創造ファンド」を設置。技術や人材、歴史、伝統など地域の資源を活かした、地域が主体となった新しい事業を創出し、産業振興をはじめ地域の活性化につなげます。

事業概要

◆平成19年に公民連携による基金を組成し、その運用益で地域活性化への取組みを支援



OSAKA 地域創造 FUND
Active Osaka Promotion Fund

基金総額：200億円
運用期間：10年間
運用益：3.0億円/年
管理経費：0.2億円/年
助成財源：2.8億円/年

運営主体
公益財団法人大阪産業振興機構

運用方法 150億円：固定運用(府債等)
50億円：変動運用

推進体制 ～事業審査委員会～
○委員長：大橋 正彦 大阪商業大学教授
(構成) 学識、起業支援家、経営専門家、中小機構
(審議事項) ①助成対象事業の審査
②事業計画及び実績に対する助言
③事業の評価

◆ 8つの地域毎に地域活性化事業を推進

8地域・中央、豊能、三島、北河内、中河内、南河内、泉北、泉南

府内8地域のブロック毎に市町村、商工会・商工会議所、金融機関等の参画を得た「地域活性化推進協議会」を設置。また、当該地域毎に「地域活性化プラン」を策定。

地域活性化推進協議会において、助成対象事業の公募、選定、経営サポートを実施。なお、選定に際しては、「助成事業選定委員会」を設置。

【助成対象事業】

技術や人材、歴史、伝統など地域の資源を活用した新しい事業であり、地域の中小企業に波及効果を与えるなど、地域活性化に資する事業。(地域活性化プランに定められた事業)

(事業例)

- 製品のブランド化・高付加価値化を通じた地場産業の振興と地域のイメージづくり
- 地域の大学と中小企業との連携による新技術・新事業の創出
- 地域の歴史、文化資源と地場産品を組み合わせた観光物産の開発
- シニアや女性など地域人材による創業やコミュニティ活性化事業

(事業主体)

- 中小企業又は中小企業グループ
- 自ら事業を行う中小企業以外の者(関係団体、NPO法人等)
- 創業予定者

(助成額・助成率)

助成額1,000万円(上限)、助成率3分の2以内(原則2分の1)

選定基準

- ①新規性 ②市場性 ③成長性
- ④革新性 ⑤実現可能性
- ⑥地域活性化への波及効果など

◆ 大阪府が重点施策と位置づける分野と大阪の 魅力発信のための事業創出を支援

【助成対象事業】

- ①重点プロジェクト事業
地域を越える広域的な事業や府が重点的に支援すべきプロジェクト
- ②高度専門サポート事業
地域支援事業や重点プロジェクトについて、専門的な技術、人材を有する広域支援機関(府立大学、大商など)が事業化を支援

